

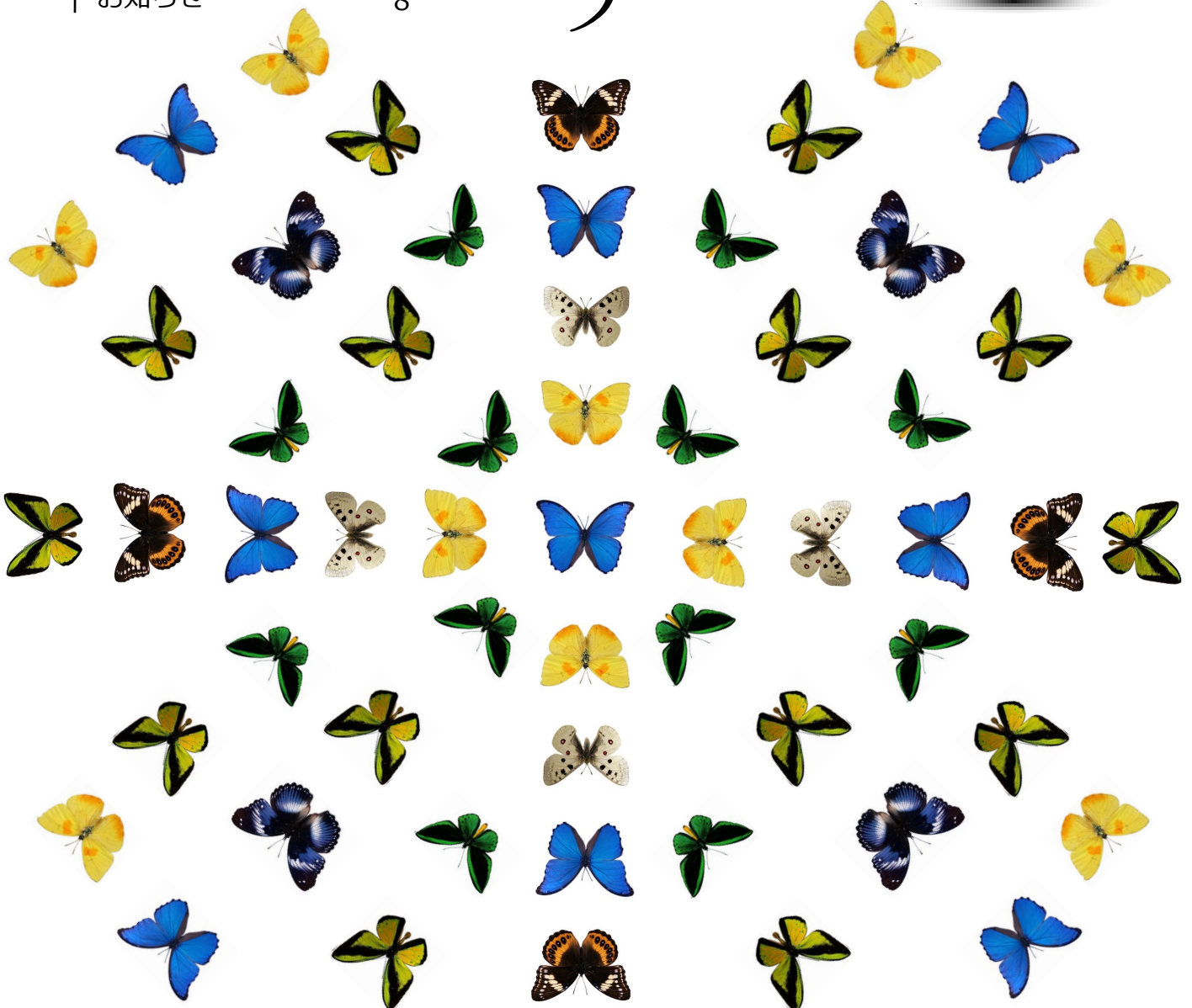
# 美歴だより

諫早市美術・歴史館だより

館長のつぶやき	2
BIREKI・レポート	3
いさはやの民謡	4
いさはやの歴史	5
美術の部屋	6
古文書の部屋	7
お知らせ	8

CONTENTS

Isahaya  
Museum of  
Art & History  
Museum News  
Vol.12



「世界の昆虫展」より

## 館長のつづやき

### 資源って、あるもんだ

▼先月、わが美術・歴史館で、市内小中学生の夏休み中の観察研究発表会、題して「小・中学校科学展」が開かれていた。トルコキキョウに毎回声掛けすると成長が違ってくるのが分かった、ゆで卵を10回転させると白身と黄身が逆転する、紙はいくら折っても9回以上は折れない、アスパラガスで紙を作ってみたなど、どの発表を見ても感心するものばかりだった。

▼普段の生活の中で「何でだろう」「どうしてだろう」の疑問から、「やってみよう」とチャレンジする気持ちを持つことの素晴らしさを改めて教えてくれた。ノーベル賞受賞者の下村脩先生が、クラゲの光るのを見て、そのメカニズムを発見したのも、きっと好奇心と飽くなき探究心の賜物であろう。もしかすると第二の下村先生が諫早から育つかも知れない。江戸後期、半造川の川底を通して本明川の水を小野島に流すため川の立体交差、すなわち「樋」を設置した青木弥惣右衛門の「どうしたらできるかな」の熱意の大きさや、明治中期、福田出身の和田半が、木綿地の蝙蝠（こうもり）傘を絹地にすることで雨の漏れを防ぐ方法を考案したなど、便利さを追求した逞しさは、まさに諫早の先覚者だ。

▼翻って、わが諫早を俯瞰すると、利用可能な「資源」が見えてきそ

うだ。本明川の不知火橋下流でボート練習をしているという。聞くと企業クルーだけでなく大村の高校生も利用しに来ているとか。3千メートルの直線の淡水コースはめったにないらしい。ひょっとして将来レガッタの公式会場になればすごい。経済効果も見込めそう。広大な干拓地や白木峰高原、山茶花高原等でのドローン訓練基地計画などはどうだろうか。種々課題はあろうが、チャレンジするのも一興だ。

▼9月17日付発行の「サンデー毎日」で人口増加の市区町村100が紹介されていたが、その中で過疎市町村が結構あり、特に30代女性の増加率の過疎町村が20町村紹介。中でも鹿児島県十島村は129.4%、和歌山県北山村83.3%、人口2300人の島根県海士町（隠岐）は47.6%などで、長崎県では小値賀町が女性増加率22.9%と紹介。増加理由はそれぞれだが、どんな地域でも、気が付かなかったものの中に、あるいは工夫によって「宝」を発見できることを暗示させてくれているようだ。

▼今月の館長講座の中で諫早に生きる「業・技」を取り上げることとした。例えば石工の技、素材としての諫早石や帆崎石の利用、建造物を解体せず、そのまま移動させる「曳家」の技など諫早に根付く技の中にも宝がいっぱい。小中学生の「なぜ」「どうして」への突込みを感嘆しつつ、自らの観察の甘さを反省。

（館長・鈴木勇次）



# BIREKI・レポート

## VOL.3 諫早は〇〇〇が多いんです！実は…。



▲第九の波濤

昨年の新語・流行語大賞にもノミネートされた「聖地巡礼」。実在の土地を舞台にした「ご当地アニメ」。「漫画・アニメ」は「地域おこしの起爆剤」としてだけでなく、美術館での展示素材として注目されています。

今年は、長崎でも「長崎ジブリエヤー」と銘打って、大規模な企画展が開催され、万単位の来館者で賑わいました。恐るべし「漫画・アニメの底力！」です。

さてさて…。草場 道輝（みちてる）、渡辺 航（わたる）、松田 奈緒子…。このメンバーの共通点は?? そう、みんな「諫早にゆかりのある漫画家」なんです。

草場先生は、サッカー漫画「ファンタジスタ」の作者、少年サンデーで「第九の波濤（はとう）」を連載中。渡辺先生は「弱虫ペダル」、松田先生は昨年ドラマ化された「重版出来！（じゅうはんしゅったい）」の作者…。うーん、なかなかすごいメンバーですよ。

で、「お盆で帰省中」ということで、草場先生が来館されました！！

「あのキャラクターたちが、この手から生まれてくるんだ〜。」と思うと、視線が思わず、先生の顔よりも「手」の方に…。「第九の波濤」では初回で「江の浦」が登場。「眼鏡橋」が「聖地」にならんやろうか…。という欲が頭をよぎり…。

諫早ゆかりの漫画家、みんなで応援しましょうね！！地元のことは意外と知らないもの。いつか、何かの形で紹介できれば…。

あっ、漫画と言えば、ビッグコミックで連載中の「ブルー・ジャイアント」。テナーサックスを手にした宮本大（だい）が必死に真摯に音を出すジャズ成長物語。音が聞こえます…。そして…。泣けます…。



▲ファンタジスタ



# いさはやの民謡

## VOL.3 わらべ歌

生まれてきた子はイガとよばれ、まだ言葉を発せません。初誕生をむかえるころから、少しずつ言葉を覚え、ワラベと呼ばれるようになるころには友達と一緒に歌を口ずさみながら遊びます。なかでもナンゴ（お手玉）や毬つきの歌は遊戯といっしょに広く歌われました。旋律はだいたいの地区でも似通っていますが、歌詞は口伝えのため僅かに違いがあります。また、歌はその時の流行、世相を反映しますが子供の歌も同様でした。ニュースや流行にはそれなりに反応したのです。

### なんごー歌

- お一つ お一つ おとしておーさーらー  
お二つ お二つ 落としておーさーらー  
お三つ お三つ 落としておーさーらー みーんなおーさーらー  
お手のせ お手のせ おろしておーさーらー  
おはさみ おはさみ おろしておーさーらー  
おちりんこ おちりんこ おろしておーさーらー  
おおし どうり どうり どりどり
- 一かけ二かけて三をかけ 四かけて五かけて六をかけ 七の欄干腰掛て  
はるか向こうを眺むれば十七、八の小娘が 片手に花持ち線香持ち  
おいおい姉さんどこ行くの 私は九州 鹿児島西郷隆盛娘です  
明治十年戦争で討ち死になされた父さまの お墓まいりをいたします

### 毬つき歌

- ここのきんど先やミカンがな一った いっちょ いっちょ ちぎったいば  
みーんな ちいぎった 上がらしゃーんせ いっとう
- わしが婆さん縁から見一れば 菊や牡丹や手毬のは一なや  
いけば夜あけてあがればおじゃる おじゃる茶々飲一みおすべした一ばこ  
上がらしゃーんせ いっとう
- ここんうんぼさんなふくれ饅頭す一きで え一にゃ九つ 夜明けにゃ七つ  
朝の茶おけにまた七つ  
上がらしゃーんせ いっとう

## 高城の史跡 Vol. 2

### 池松林一胸像

高城内には銅像、胸像、頌徳碑、詩碑など様々なものがあります。今回は高城の頂上に上る石段の左脇にある池松林一の胸像を紹介します。胸像の下の部分に池松氏の功績の碑文があり次のように書かれています。

池松林一翁は大正10年諫早町長に就任、当時町内の飲料水は井戸水又は川水を利用していたため毎年伝染病が頻発しこれが対策に腐心していた。翁は欧米視察で水道布設の必要性を痛感され昭和2年自己所有の泉町水田を提供し万難を排して水源池を設置、昭和5年町内一円に給水を開始するに至った。以来伝染病も逐次減少し今日まで諫早市民は清潔で豊かな水に恵まれ健康で明るい生活を続けてきたことは、翁の卓越した識見と決断力の賜である。また翁は、諫早市長、同議長、県出納長、商工会議所会頭等の要職を歴任し、生涯を通じ市の繁栄に心血を注がれその功により昭和44年功労者として勲五等雙光旭日章を授与された。

ここに、翁の偉大なる功績を讃え、後世にその名をとどめるためこの像を建立する。

昭和46年3月吉日

諫早市長 野田次三

泉町に設置された泉配水池は87年経た現在でも私たちにきれいな水を供給しています。



▲池松林一の胸像



▲泉配水池

## 山口ツガ「釣り人」



山口ツガ「釣り人」 制作年不明、油彩、カンヴァス 諫早市美術・歴史館蔵

山口ツガ（明治12年－昭和21年）は諫早市出身の女流洋画家です。今の諫早市高城町に生まれました。明治22年に小学校を卒業。長崎の活水女学校に学びましたが、更に上京して香蘭女学校へと入学、卒業後は洋画家界の草分け黒田清輝子爵邸に寄宿し、同氏経営の赤坂洋画研究所において洋画の研究に没頭しました。明治38年にはニューヨークに赴き、森村組の支配人村井家の家庭教師として住み込み3年の滞在で一度帰国するも、明治41年再び渡米して美術学校に入学、明治44年卒業と同時にパリに居を移し、以来24年間パリの大家らと洋画の研究に努めました。昭和10年パリを引き上げて日本へ戻り、昭和21年諫早市で68歳の人生に幕を下ろしました。昭和32年諫早大水害の際作品の多くが流失したとされていて、郷里諫早にあまり作品が残されていないことが悔やまれます。

※参考文献 田中為市『諫早史談』

# 古文書の部屋

## 漢字と平仮名

日本語の文章は漢字と平(片)仮名交じりで書かれますが、近世では特定の漢字をそのまま音読みして仮名として使用していました。これを**変体仮名**といいます。主に以下の3つのパターンに分けられるのでご紹介します。

### 例①

仮名の起こりは漢字ですので、字が崩れてほとんど平仮名の形に近い文字もあります。

あ…安 い…以 お…於 け…計 せ…世 そ…曾 て…天 な…奈  
に…仁 の…乃 は…波 ひ…比 ふ…不 ほ…保 ま…末 も…毛  
や…也 ゆ…由 ら…良 り…利 る…留 れ…礼 ろ…呂  
…など

### 例②

漢字の音読みから想像することが可能な文字です。当て字に近いものもあります。

く…具 し…志 す…須 と…登 な…南 に…丹 の…能 は…盤  
へ…遍, 邊, 部 ま…満 め…免 よ…与 り…里  
…など

### 例③

逆に漢字の音読みからは想像しづらい文字もあります。

つ…川, 徒, 頭 す…春 た…堂 わ…王 …など

○変体仮名、当て字を使用した言い回しの例  
～すべし…須遍し いたし(致し)…以多志 …など

○その他漢字の当て字例  
敷(～しく)…宜敷(よろしく)、厳敷(きびしく)、～間敷(まじく):～することのないよう  
…など

お 知  
ら せ

発行日：平成29年10月

## 館ツアー

①諫早家ゆかりの地を巡る佐賀探訪  
バスツアー

と き／11月25日(土) 午前8時30分～午後5時  
 コース／佐賀城歴史本丸館、諫早家屋敷跡～  
 万部塔、大興寺等を見学※徒歩移動有  
 参加料／1,720円(保険料、昼食代)

## ②史跡散策ツアー

と き／12月2日(土) 午後1時～4時  
 コース／天祐寺→織部灯籠→茶臼山→西郷の  
 板碑→陣の辻古戦場(遠望)→刑務所跡→平  
 仙寺→性空寺※すべて徒歩移動  
 参加料／100円(保険料)

## ①②共通

定員／20人(申込多数の場合は抽選)  
 集合場所／諫早市美術・歴史館  
 その他／小雨決行、歩きやすい服装  
 申込方法／ハガキ、ファクスまたはメール  
 (bireki@chity.isahaya.nagasaki.jp)に、希望  
 コース、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、  
 11月6日(月)までにお申し込みください。  
 ※当日消印有効  
 申込・問い合わせ先／諫早市美術・歴史館

## 館講座

## 館長講座

と き／10月7日(土) 午前10時30分～12時  
 ところ／美術・歴史館2階研修室  
 内 容／諫早に根付く「技と業」  
 講 師／鈴木 勇次(美術・歴史館長)  
 その他／受講料無料、事前の申し込み不要

## 館企画展

## 絵葉書展



大正から昭和の諫早の絵葉書を展示します。  
 期 間／12月23日(土)～1月21日(日)  
 午前10時～午後7時※最終入場18:30  
 ※毎週火曜は休館  
 会 場／美術・歴史館[1階ホール]  
 観覧料／無料

## 編集後記

8月にひそかに開催した「世界の昆虫展」、大盛況でした。

たまたま展示室に空きができ、穴埋めにとはじめ、広報もままならなかったにも関わらず、わずか2週間の開催で、2千人超！

連日、目を輝かせたちびつ子たちがわんさと訪れ、食い入るように昆虫標本を眺めて楽しそうに家族で話す姿に、思わず目を細めてしまいました。

さて、「夏休み」は、子どもにとって特別なものです。誰もが、あのワクワク感を覚えているでしょうし、忘れられない思い出もあるのではないのでしょうか。

その一方で、毎日子どもの世話に追われるお母さんや、休日のたびに「どっか連れて行って」とせがまれるお父さんたちは大変だったことだと思います。

そんな中、当館の企画展においていただき、子どもたちには昆虫に胸躍る楽しい思い出の一つに、お父さんお母さんたちには帳面消しとともに童心に戻って楽しかったと喜んでいただいたことが、幸甚の至りとなりました。

今後も、皆さんの身近な美術館・博物館として、喜ばれる企画展を開催していこう！と、ひそかに思っています。

(山本真)